

---

# ベン・トー ~ 狩人の名を持つ狼 ~

?ハッピー

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ベン・トー 〜狩人の名を持つ狼〜

### 【Nコード】

N7340Z

### 【作者名】

?ハッピー

### 【あらすじ】

「俺は狼だ、最悪の二つ名を持つ」とある理由により転校することになった主人公烏丸 翔太が昔小学生のころ同級生だった佐藤 洋と再会し普通の日常を過ごすつもりだった。アイツがあのスーパーに来るまでは。

原作にどつりに話を進めていくつもりですがなにせ自分に文才が無い為自己満足の小説になるかもしれませんがもし暇であれば見てください。

## プロローグ（前書き）

ベン・トーの小説を書いて見ましたが1巻を友達に貸しているので更新は、出来ませんがうる覚えの感じになるかもしれないがそのところは了承下さい。

それではプロローグをお楽しみ下さい。

## プロローグ

町のどこにでもある小さなスーパーそこで今夜も戦いが始まるうと  
していた。

ここは西区のホーキーマートというスーパー

そこにはものすごい威圧間を感じた。

「今日は氷結の魔女はいないのか。せつかくよく来るスーパーを調べて来たのに。今日は帰るかなでもおもしろそうな奴もいるし残るか」

そんなことをいっていると、このスーパーの半額神ことアブラ神が扉を開け出てきた。

「いよいよ始まるのか半額印証時刻。さて、この西区の実力見せてもらおうか」

俺は、胸のドキドキが止まらない。

ものすごい個性的な人たちがいるからおもしろそうだ。

アブラ神が半額シールを張り終わる。

そしてこっちをちらりと見た後静かに扉を閉めた。

「さあ狩りの時間だ」

その瞬間、狼と呼ばれる者たちが弁当に向かい飛びつく。

弁当を争う壮絶な戦いが始まった。

俺は、遠くで見ているだけだった。

「この中に二つ名持ちは誰もいないな、なら楽勝だな」

そう俺が言つと狼たちは一旦戦いをやめて俺に、ものすごい顔で顎鬚を生やした男が言つてきた。

「なんだよ、お前はこの辺ではみない顔だなあ」

「そりゃそうだよ、俺は最近このあたりに引つ越してきたんですか  
ら」

「まあいいとりあえず俺が実力を見てやるよ」

「俺に叶うと思ってるんですかあなたが」

「なにを！！」

そついうと俺に向かい飛び掛つてきた。

俺はそれを普通にかわすとなんか分からんがその顎鬚を生やした男が切れていた。

「もう怒つたぞ、ココからは本気だ」

さつきまで本気じゃなかったのかよ。

「かかつてきてくださいよ。狼さんよ」

相手は俺に向かい殴りかかつてくる。俺はそれをかわすと顎鬚に向かい蹴りを入れる。

蹴りをいれるとその男はうめき声を上げながら倒れていった。

「あれこんなけかよ」

そついうと他の狼が俺をなんか変な目で見ている。もしかしてアウエイ。

「どうしたんですか。かかつてきてくださいよ」

「行ってやるうじやないか！！」

「そつこなくちゃ。楽しい狩りの時間だ」

「おっしゃー弁当は取ったし帰るか」

俺が帰ろうとすると、さつき威勢が良かった茶髪で髪が長めの女性が俺に話しかけてきた。

「あなたは誰なの？この地区の人間ではない。しかもただの狼にシテは、強すぎるほんとにあなたは何者」

「俺か、俺は烏田高校一年（仮）最近引っ越してきた名前は烏丸翔太だけだ」

「烏田高校？ってことはわんこと一緒に私と一緒にわんこ一体誰のことだ。」

「烏田高校だったんですか、多分先輩ですよ。それじゃあ氷結の魔女こと檜水 仙を知っていますよね。それじゃあ伝えてください、俺のことを」

「一樣伝えておくけどあなたどう伝えればいいの？」

「そうだな、この名前は気に入ってるわけじゃないんだけどなまあしょうがない」

俺この名前嫌いなんだよな。まあいいか

「それじゃあいいですよ。俺の二つ名を俺の二つ名は 　　です」  
その名をいうと茶髪はものすごく驚いていた。

「まさかあなたがあの二つ名の持ち主」

やっぱり驚いているだからこの二つ名はキライだ。

「ちゃんと伝えといてくださいよ。先輩」  
そういつて俺は店から出ていいた。

俺の二つ名それは狼殺しの意味の「狼殺し ウルフスレイヤー」  
それが俺の二つ名である。この二つ名は俺は嫌いだ、なぜならこの  
名を聞くと皆が口をそろえて逃げていくからだ。

## プロローグ（後書き）

どうでしたでしょうか、面白かった人はコメントを下さい。

## キャラ設定（前書き）

今回は主人公である烏丸 翔太のプロフィール紹介です。

## キャラ設定

名前：烏丸 翔太

二つ名：『狼殺し ウルフキラー』

容姿：髪の毛が立っていて基本的な主人公の髪型で普段は、ぼーっ  
としている。基本的にイケメンである。

性格：弁当争奪戦の時はまた違った表情をする。大体こわめの顔をする。性格はとても優しく誰とでも友達になれる感じの性格である。この性格ゆえに自分の大切な人が危険に去らされると我を忘れて怒ることもある。そうになったら誰も止められない。

家族：家族は父は行くえい不明 母は交通事故で死亡こんな感じのため今は、弟と妹で家に住んでいる。弁当を求めるわけは、弟と妹の為。

交友関係：佐藤 洋 著我あやめとは昔よく遊んだ。

二つ名の由来：今のところは不明

戦闘スタイル：基本的に拳と足を使った戦い方だが他にも割り箸、カゴ、カート、輪ゴムなどスーパリーにあるものをほとんど使い戦う場合もある。

好きなもの：妹と弟 仲間

嫌いなもの：仲間を傷つける人

## キャラ設定（後書き）

設定はまた増えるかもしれませんが。そこんと頃は了承下さい。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7340z/>

---

ベン・トー ~ 狩人の名を持つ狼 ~

2011年12月24日12時01分発行